

[専門教育科目/看護の基本]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
フィジカルアセスメント	NSP12_002	必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
窪川 理英 他	404	r.kubokawa	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	多様化・高度化する医療現場において看護師が行うヘルスアセスメントが重要な役割を担っている。本科目はヘルスアセスメントの一部であるフィジカルアセスメント能力を身に付けることを目的とする。Teams を活用し、身体の構造・解剖学：生理学を理解していることを確認しながら、身体的機能の理解を深めていく。その後フィジカルイグザミネーションの方法をメディアを利用し身につけ、アセスメントを実施することで知識と技術の融合をはかる。				
学習上の助言	人体機能構造学の知識、病態生理の知識が必須。予習復習を必ず行うこと。				
教科書	看護がみえる vol.3/編:医療情報科学研究所/メディックメディア				
参考書	写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント/監修:守田美奈子/インターメディアカ				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ヘルスアセスメントを理解しフィジカルアセスメントの意義が理解できる		HSU(2)、NS(4)		
②	フィジカルイグザミネーションが実施できる		HSU(2)、NS(4)		
③	模擬患者のフィジカルアセスメントを推論することができる		HSU(2)、NS(4)		
④	模擬患者をとおして患者への配慮ができる		HSU(1)(2)、NS(1)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	フィジカルアセスメントとヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントを理解する。	同時双方向型授業	フィジカルアセスメントとは事後課題をノートにまとめる	1	1
2	問診の聴取	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1	1
3	Vaitalsign の理解	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1	1
4	視診・触診・打診・聴診の理解	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1	1
5	課題：身体計測をとおしてアセスメントを理解する。	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1	1
6	血圧測定方法の確認	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1	1
7	バイタルサイン測定	講義・演習	事前課題をノートにまとめる	1	1
8	バイタルサイン測定	講義・演習	事前課題をノートにまとめる	1	1
9	バイタルサイン測定	講義・演習	事前課題をノートにまとめる	1	1
10	バイタルサイン測定	講義・演習	事前課題をノートにまとめる	1	1
11	頭頸部のフィジカルアセスメント①	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1	1

[専門教育科目/看護の基本]

12	頭頸部のフィジカルアセスメント②	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
13	呼吸器系のフィジカルアセスメント①	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
14	呼吸器系のフィジカルアセスメント②	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
15	循環器系のフィジカルアセスメント①	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
16	循環器系のフィジカルアセスメント②	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
17	腹部のフィジカルアセスメント①	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
18	腹部のフィジカルアセスメント②	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
19	直腸・肛門・生殖器のフィジカルアセスメント①	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
20	直腸・肛門・生殖器のフィジカルアセスメント②	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
21	脳・神経のフィジカルアセスメント①	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
22	脳・神経のフィジカルアセスメント②	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
23	筋・骨格系のフィジカルアセスメント①	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
24	筋・骨格系のフィジカルアセスメント②	同時双方向型授業	事前課題をノートにまとめる	1
25	呼吸音の聴取	講義・演習	事前課題 Vaitalsign の測定練習	1
26	呼吸音の聴取	講義・演習	事前課題 Vaitalsign の測定練習	1
27	心音の聴取	講義・演習	事前課題 Vaitalsign の測定練習	1
28	心音の聴取	講義・演習	事前課題 Vaitalsign の測定練習	1
29	Vaitalsign の測定・アセスメントの技術確認	講義・演習	事前課題 Vaitalsign の測定練習	1
30	事例/フィジカルアセスメント発表まとめ	講義・演習	ノートのまとめ 確認	1
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

[専門教育科目/看護の基本]

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	20	10	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。授業中に取り組んだ内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。			試験の解説	
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	開講中は、予習・復習のための課題についてレポート提出を求める。レポート内容と取り組み状況から、総合評価する。自学自習の学習方法、学習習慣を身につけても評価に加味するため、提出レポートの期限内提出や、レポートを表現の工夫などをして作成することで評価を上げることができる。			講義中にコメント	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	開講途中で学んだ知識・技術をもとに、学生間でフィジカルイグザミネーションを行い、学んだ知識・技術の発表を行う。			発表時コメント	
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	開講中は、予習・復習のための課題を提示し、自学自習の学習方法、学習習慣を身につけて、学習状況を記述する。			レポートにコメント	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎窪川理英、中溝道子、溝口孝美、平尾眞智子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この科目は、担当教員の病棟・ICU・外来・検査部門・治療部門などで得た経験を元に、多岐にわたる事例紹介を交え授業を進める。</li> <li>・演習を実施する際は、途中で出入りしなくてすむように、身支度など十分にして臨めるように準備すること。また、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること、問題がある場合は面札授業の参加を認めません。</li> <li>・フィジカルアセスメントに必要な知識・技術の修得は、自己学習が必要になってくるため、時間外の自らの身体を活用し練習などを行うこと。</li> <li>・Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。</li> </ul>							